

ロンドン
日本人
牧容所
知事局
五月八日
土曜発行
オニ二七号

東京再度の空襲企圖

キスカ東南に新基地
東京まで一九二七哩

華府七日合同通信は、アムールヤン群島の日本基地キスカを二百三十餘回爆撃して、日本兵を動揺せしめ、其隙を窺つて、同キスカ東南アンチカ島に過去四ヶ月を費して防備工作を完了した旨を発表した。此処より東京までは一九二七哩であるから、米領より日本軍を駆逐するか、或は、ある時機に於て、愈々再度日本本土の空襲を敢行するに着手すると傳へた。

アフリカ攻略進捗

キユニス等陥せ説

北阿聯合軍本管に附合同通信社七日発報道に據れば、聯合軍は遂にビサート軍港並にキユニス首府を占據した。米軍はビサートに侵入し、英軍はキユニス首府へ入城した。然し約二十万の拒軸軍が、彼らバタン半島を死守した米軍の如くに、カワポンを中

心として、約八百平方哩の地に據つて最後迄抗戦を續けて居るが、或は、タンカラ事件を繰返すか、カワポ半島を占領して、伏すか、世界に注視を一身となつてゐる。

アイランド遭難者氏名
既報、アイランドに於て遭難せる飛行機の犠牲となつた者は、
米國政務遠征軍總指揮官アムドリウ又將軍を初め、同參謀長、旅團少將バース、歐洲、亞細亞、北阿各戰線、宗教行政を司る、メリケスト、エスコ、バム、派、總監督レオナルド、歐洲特務機關長エム、クルム大佐、ミラー大佐、チャマン中佐、トマド少佐、ハム、ブレイ少佐(宗教)、ジョン、大尉、ゴット、大尉、シヤ、文尉、外上級軍曹三名以上が、惨死を遂げ、奇蹟的にエイフル軍曹一名が命拾ひをしたと陸軍省は発表した。

豆ニエス

最近キユニス島の米國飛行兵のマザーが、孫の爲に、イースターエッグを買つた處、その卵に、メイドインジパンのマークがあつた。

混記の華府物價調節局役人は約五百人、全国には二千七百人、其多くは法律家である。ブラウン總裁は、過去四年間圓滿に運用されてゐる英吉利の物價調節局には、たった十人のローヤールが、あるに過ぎぬ事を発見したと、ポークリターは、三月以來、英法兩國に對して、驚天動地の大事件が勃發すると説いて

あるが、これは、三月七日と最近発表した。

聖公會談報

明日曜夜七時、オニ二七隊食堂に於て、聖公會関係者の總會あり、イースターの贈品を受けたる人々は、特に、先づ、金あり、尚、明後月曜朝九時よりオニ二七隊宗教堂にて、ウッド神父が、面会を、おれ、あつた、故、万障繰合せ、出席あり、たし

郵便局より

一、新聞雜誌書籍等發行所より直摺インタニースに送つて來るもの、外は一切購讀出來せぬから、希望者は、直接發行所へ注文され、やうに致しませ。

二、家族、友人等からインタニースに送つて來た、新聞、雜誌、書籍等は、一切此所にて受取れ、せ、又、之、手、物を、當所からは、發送する事、許され、せん。

知事局へ寄附

五月五日、コミユニテイ農園勤務の左記十氏より、金三十弗宛、兩大隊知事局へ寄附申出を受け、たが、其、半額を、慰勞として、十氏へ、贈呈し、ました。

- 尾形正氏 (十中隊九室)
- 岡林恒則 (五)
- 今泉甚平 (九)
- 政光浅吾 (九)
- 大沢惠三郎 (九)
- 近藤史郎 (一)
- 山本 等 (一)

石田治三太氏 (二)

桑原音吉 (一)

尚農園部長、園田氏、先、出所、後、尾形正氏、その後、任、こ、當り、一同、の、献身、的、努力、により、次々、と、收獲、を、奉、げ、つ、た、り。

オニ二七隊便り

○洋土宗聖堂研究
明日曜午前九時
オニ二七隊食堂

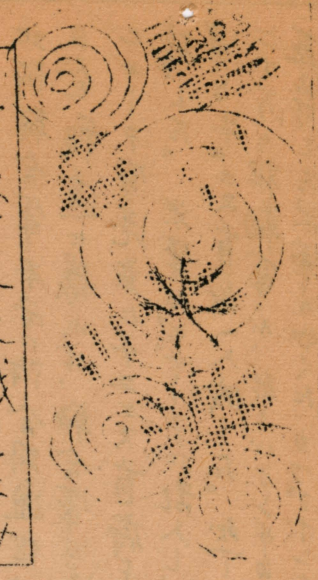
○曹洞宗禪學子會
修證義講義、我、田中哲翁師
明日曜午前九時
オニ二七隊社交室

○聯合日曜禮拜
説教、車轉、至誠師
明日曜午後七時
宗教堂

○基督教日曜禮拜
司會、國分牧師
説教、涙の祭壇、神野牧師
明日曜午前九時
オニ二七隊食堂

○佛教禮拜
勤行、般若心經、上島泰岳師
説教、山下顯光師
明日曜午後七時半
オニ二七隊食堂

○石崎千松氏講演「戦争と其趨向」
オニ二七隊食堂、本、日、午後七時



第二次世界大戦こよみ

千九百三十九年九月一日、独逸軍、ポーランドへ進撃を開始。

九月三日、独逸に対し、英佛兩國宣戦布告を爲す。

九月十七日、露国は安加、ポーランドに侵入。

九月廿七日、ポーランドは無條件降伏。十月三十日、露国はフィンランドに対し、戦端を開始。

千九百四十年三月十三日、フィンランド、露国間に休戦協定成る。

四月九日より六月二日まで、独逸はデンマーク、ノールウェー、ベルギー、和蘭、ルクセンブルグ等の攻略に成功。

英佛軍、フランスに敗北し、英軍、欧州大陸より退却。

六月十日、伊太利、独逸と協力する戦宣言。

九月廿四日、ヘタン將軍、フランス首相に就任し、独伊兩國、間に休戦條約を締結。

千九百四十六年六月廿八日、露国はルーマニアに侵入し、ブコブナ、ベッサラビアを不法に領有せんとす。

七月三日、英國は佛国に対し、佛國艦を押収利用せんと試み、佛國政府之を拒否す。

八月八日より九月まで、独逸軍連續的に英國本土を爆撃す。

八月十九日より九月十四日まで、伊太利は英領サマリヤランドを征服す。

九月廿七日より十月廿四日まで、獨逸は、日本、ハンガリー、ルーマニア、スロバキアの各國を冬戦せんため外交工作に狂奔す。

十月廿八日、伊太利軍ギリシアに侵入。

誤れる祖先 (四)

然し乍ら、一般世間は此日本人問題に關し、層層眞面目な意見を持て居る。ギヤロッパの輿論調査會が

日系市民は戦後太平洋沿岸部に歸する事を許す可きか、否乎？

其結果東部方面は、三十五%は日本人全部の歸することを許して居る。

二十六%は日系市民のみを歸することを許して居る。

十七%は一人も歸るを許さぬ。

今年十二月九日、英國、埃及より援軍を送り、伊太利軍アルバニアへ撃退す。千九百四十二年三月十日、米國はレンドリア法制定、口大統領之に署名す。

四月三日より十三日まで、獨逸軍はベネチアより英軍を埃及へ撃退す。

五月廿七日、ヒトラーはギリシア、ユーゴスラビアに二十六日間にて征服完了。

野球リーグ戦時間変更。明日曜日のリーグ戦中、オーストラリア中隊試合は、正午後六時と変更した。

宗教講演。大藏經由來、續講、三明永無先生。今日曜日の夕七時、オーストラリア隊宗教堂、文化講演部主催。

○二十%は未決定である。

而して太平洋沿岸五州に於ては、日系市民に対し、前記の如き、より遙かに敵愾心強く、總て日本を排斥せしむる者は二十九パーセントに過ぎない。

○日本人に対する憎悪心。然し乍ら、一般市民の多數の間に、燃ゆるが如き憎悪心に固まる者がある。アイカホ州、ニューレオンに於けるヒート腹を、大劣傷者は次々叫んだ。

今日、我々が西部沿岸諸州を、之を日本人に譲り渡す爲め、では無かつた。元來、日本人

文化講座、朝八時半、夕七時、九由會堂。和歌、天洋氏。

水、常盤園、石山、安三氏。木、三原、三氏。

金、川、梅、氏。土、漢詩、山、氏。

英語夜学校。渡辺先生、火、木、七時半、十一中會堂。

中林先生、日、月、水、金、七時半、十中會堂。講談、浦中、和、三、日、月、水、金、七時半、十二、社交。

○日文講習會、春原、先生、火、木、七時半、カニ、ホール。

正に日本に送還すべきだ、と、唸つてゐる如きは、代表的意見を見ることがある。

そこで此惡口を、我々に対し、ニドカ、のレロケ、レレン、セン、タイ、に居る日本人の三分の二は、米國市民である。

その辭に、彼の注意を促すと、そんな事は問題で無い。日本人が、レチ、ズン、であるならば、エ、トル、ス、ネ、キ、(鉄籠)も、レ、チ、ス、だ、と、吠えたりもある。

然し乍ら、市民権ある者が、ハイ、ブ、ド、ワイ、ヤ、の、内、に、在、る、と、小、事、が、大、問題、である。

多年、日系市民、即ち二世は、此、國、に、生、れ、彼、等、は、米、國、市、民、で、ある、ことを、常に、誇、り、と、して、居、た、

者である。而も二世の或者は、彼等、の、兩、親、一、即、ち、一、世、である、移、民、に、對、し、一、種、の、優、越、感、を、以、て、臨、ん、で、居、た、と、ある。

ハイ、ブ、ド、ワイ、ヤ、の、中、に、同、居、し、て、居、る、二、世、市、民、に、向、つ、て、一、諸、君、は、立、派、な、米、國、市、民、だ、と、然、し、その、市、民、諸、君、は、我、々、二、世、と、同、様、此、地、に、ハイ、ブ、ド、ワイ、ヤ、の、中、に、一、緒、に、押、し、込、ま、れ、居、る、で、は、な、い、か、何、と、米、國、市、民、權、は、い、ふ、もの、は、諸、君、の、爲、に、は、大、した、もの、だ、よ、い、今、や、諸、君、は、二、世、市、民、と、い、ふ、言、葉、は、何、を、意、味、す、る、の、か、い、よ、く、わ、か、る、で、せ、う、と、嘲、り、笑、つ、て、居、る。